

報 告 書

開 催 日 時	令和7年11月15日 15時00分 ～ 16時30分		
自治協議会名	東部地域住民自治協議会	開 催 場 所	上野東部地区市民センター
出席議員	森中 秀哲、内原 篤、福村 教親、宮崎 栄樹		
	班 長	森中 秀哲	記録・報告者 宮崎 栄樹
参加人数	14 名		

【主な意見・提言等】

■ 1) 消防団の人材不足について

- 今年2人、来年1人が退団予定（70代・80代）。人員減少が深刻。
- 8月から3回の募集広報を実施。自治会に候補者推薦を依頼するも、名前が挙がらず。
- 加入が進まない理由として、「仕事の都合」「子育て」「会社の協力不足」などが想定される。
- 消防本部にも協力を依頼しているが、市議会としても支援を求めたいとの声。
- 災害対応への不安が強く、「防火用水を水道管路上にも整備してほしい」などの要望があった。
- これまでのように“知り合い・家族に声をかける方式”が、新住民増加により難しくなっている。
- 外国籍住民の増加に伴い、外国籍の方が団員としてできること・できないことを制度的に整理してほしい。
- 仕事中でも出勤しやすく、出勤時の欠勤扱い防止、企業・事業所への理解を得る働きかけが必要。
- 団員が所属する事業所も含めた市内事業所に協力事業所への加入を進めてはどうか。
- 大山田在住時は、年齢制限により消防団ではなく、自警団に入った。
- 地域として来月、消防団との協議を予定。

■ 2) 旧上野市庁舎（SAKAKURA BASE）について

- 「あの建物は何か？」という声があるため、PR不足との認識。
- 建物外観から分かるサインを望む声が多数。
- 看板は建物本体でなく、駐車場側への設置でも可との意見。

- ・ 土産物店の入口が分かりにくく、「入っていいのか分からない」状態。案内改善が必要。
-

■ 3) 観光と交通について

- ・ 市営の駐車場が有料だが、「観光客を呼びたいのか／収益を優先したいのか」市の“観光の方向性”が不明確との指摘。
 - ・ 観光客が、どこで買い物をするか、どこで食事をするかが分かりにくい。
 - ・ SAKAKURA BASE の認知度も市民に十分浸透していないのでは。
 - ・ 観光案内所を上野市駅前に復活させてはどうか。
 - ・ 喫煙ブースを駅前に設置して欲しい。
-

■ 4) 旧ふれあいプラザについて

- ・ 中心市街地活性化の会議でこれまで話してきた。新聞報道で解体するとあったがどうなのか。

住民側の提案

- ・ 完全解体は費用が大きい。半分を撤去し、一部を残して補強し、中型バスのターミナルとして活用してはどうか。
 - ・ そのバスで市内全域（旧町村を含む）を周遊させれば、全体の経済効果が期待できる。
 - ・ インバウンド観光では、市内で昼食を取らず移動するツアーが多く、「一定人数を収容できる飲食店」が必要。
 - ・ 観光客のターゲットは富裕層か。万川集海・城下町ホテルなどは高価格帯。
 - ・ 伊賀の商店は横のつながりが弱く、商工団体の役割が求められる。
 - ・ ヨーロッパは旧市街地区域があり魅力。銀座通りがあるがあれで良かったのか、昭和の状態がよかったのではと思う。
 - ・ 「水が流れる街は繁栄する」ことから、お城の堀の水循環などのアイデアも出された。
-

■ 5) デイサービスについて

- ・ 「急な用事のために預かり場所がない」という切実な声。
 - ・ 市内では「認知症でないと受け入れない」と言われるため利用できない。
 - ・ 滋賀県には、急な依頼も受け入れる施設があるため、一度視察等をしてほしいとの要望。
-

■ 6) その他

- ・ 「議員さん、頑張ってください」と激励の声あり。

伊賀市議会議長 様

令和7年11月18日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会 1 班

班長 森中 秀哲